

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2 年 I 類 A 型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	<i>Revised BIG DIPPER:</i> <i>English Communication II</i> (数研出版)		『ユメタン』(アルク)・『Hyper Listening 4 th Edition Elementary』(桐原書店)

【科目の到達目標】

- ・英検準2級レベルの文章を理解することができる。
- ・まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
- ・一般向けに書かれた説明文（チラシ・パンフレット等）、を理解することができる。
- ・日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
- ・相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。
- ・事物に関する紹介や報告、対話や 討論などを聞いて情報や考えなどを理解できる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、英単語の小テスト、リスニング小テスト、教科書の各レッスン・パートの小テスト、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。

月	学習単元 ・項目	Big Dipper = BD		Hyper Listening = HL			
		ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動		
一 学 期	4	BD: <u>Lesson 1:</u> Washoku Around the World (Part 1-3)	・ 学習した語彙、表現や文法を身に付け、適切に用いることができる。 ・ 正確な発音・イントネーションでレッスンの英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文についての課題（宿題） ・ 音読活動 ・ スラッシュ・リーディング ・ シャドーイング ・ 内容確認テスト	・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文を大まかに理解できる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
	5						HL: Lesson #1-2
	中間考査 Midterm Examination						
	6	BD: <u>Lesson 2:</u> Chiori, the First Therapy Dog in Japan (Part 1-3) <u>Lesson 3:</u> How Good Is Your Memory (Part. 1-2) HL: Lesson #3-6	・ 学習した語彙、表現や文法を身に付け、適切に用いることができる。 ・ 正確な発音・イントネーションでレッスンの英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文についての課題（宿題） ・ 音読活動 ・ スラッシュ・リーディング ・ シャドーイング ・ 内容確認テスト	・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文を大まかに理解できる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
7							
期末考査 2 nd Term Examination							

	月	学習単元・項目	Big Dipper = BD		Hyper Listening = HL	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	BD: Lesson 3: How Good Is Your Memory (Part 3-4) Lesson 4: Space Elevator (Part 1-4)	・学習した語彙、表現や文法を身に付け、適切に用いることができる。 ・正確な発音・イントネーションでレッスンの英文を読める。	・新出語彙確認 ・本文についての課題（宿題） ・音読活動 ・スラッシュ・リーディング ・シャドーイング ・内容確認テスト	・ネイティブスピーカーが読み上げた英文を大まかに理解できる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	10	HL: Lesson #7-10				
	中間考査 Midterm Examination					
	11	BD: Lesson 5: Diversity Brings New Products (Part 1-4) Lesson 6: Ueno Takahiro (Part 1-2)	・学習した語彙、表現や文法を身に付け、適切に用いることができる。 ・正確な発音・イントネーションでレッスンの英文を読める。	・新出語彙確認 ・本文についての課題（宿題） ・音読活動 ・スラッシュ・リーディング ・シャドーイング ・内容確認テスト	・ネイティブスピーカーが読み上げた英文を大まかに理解できる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	12	HL: Lesson #11-14				
期末考査 2 nd Term Examination						
三 学 期	1	BD: Lesson 6: Ueno Takahiro (Part 3-4) Lesson 7: The France Okaeshi Project (Part 1-4)	・学習した語彙、表現や文法を身に付け、適切に用いることができる。 ・正確な発音・イントネーションでレッスンの英文を読める。	・新出語彙確認 ・本文についての課題（宿題） ・音読活動 ・スラッシュ・リーディング ・シャドーイング ・内容確認テスト	・ネイティブスピーカーが読み上げた英文を大まかに理解できる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	2					
	3	HL: Lesson #15-18				
	学年末考査 Final Examination					

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

世界中のどこへ行っても、英語ができるならコミュニケーションが取れる。英語ができるというだけで選択肢も広がり、人生がより豊かなものへととなりうる。この英語コミュニケーションⅡのクラスでは、英語のリーディングやリスニングのアクティビティに加え、ペアワークやグループワークなどのアクティブラーニングを通して、英語力を向上させることができる。また、定期的に行われるボキャブラリーやリスニングの小テストを通して、学習した内容を強化する。勉強や生活の中での努力の積み重ねが、英語力を決定する。皆さんの積極的な学習姿勢を期待しています。頑張ってください。

Good luck to all of you!

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2 年 I 類 B 型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)	『ユメタン 1』(アルク) 『Hyper Listening: Elementary』(桐原書店)	

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準 2 級レベルの文章 (300 語程度の長文) を 2 分 30 秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文 (チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて総合的に算出する。もちろん定期考査の割合が最も大きい、普段行われる活動への参加姿勢も重要視する。

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Hyper Listening= HL)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	5	HL: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4								
	6	中間考査 Midterm Examination								
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4					・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・ 制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をおおまかに理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		HL: Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8								
		期末考査 First-term Examination								

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Hyper Listening= HL)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	10	HL: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 7 Lesson 8					・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
		HL: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16								
	期末考査 Second-term Examination									
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	2	HL: Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19								
	3	Lesson 20								
		学年末考査 Final Examination								

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出合い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ100点ずつとなっており、以前と比べ、リスニング能力にも重きを置かれ始めています。そのため、本クラスでは、リーディングとリスニングのトレーニングを基本的に同じ割合で行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現のインプット、そして取り込んだもののアウトプットを行います。リスニングにおいても、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習、シャドーイングといったトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150 を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。

英語力を向上させるためには、授業内という限られた時間内の学習だけでは限界があり、課外でどれだけ積極的に取り組むかがとても重要となってきます。そのため、皆さんには積極的かつ能動的な授業参加とともに、自宅や寮における英語自習時間の確保と、集中した自宅学習の実践を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2 年 I 類 C 型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		『ユメタン 1』(アルク) 『Hyper Listening: Elementary』(桐原書店)

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準 2 級レベルの文章 (300 語程度の長文) を 2 分 30 秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文 (チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて総合的に算出する。もちろん定期考査の割合が最も大きい、普段行われる活動への参加姿勢も重要視する。

学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Hyper Listening= HL)		
	ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
BD: Lesson 1 Lesson 2 HL: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をデイクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのデイクテーション。	
月	中間考査 Midterm Examination				
	BD: Lesson 3 Lesson 4 HL: Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・まとまった内容をおおまかに理解できる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのデイクテーション。
	期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Hyper Listening= HL)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト	- 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 - まとまった内容をより正確に理解できる。	- 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 - 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	10	HL: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 7 Lesson 8					- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト	- 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 - まとまった内容をより正確に理解できる。	- 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 - 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
		HL: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16								
	期末考査 Second-term Examination									
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	- 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 - 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	2	HL: Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19								
	3	Lesson 20								
		学年末考査 Final Examination								

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

C型の生徒として、英語は誰にも負けないというプライドをもって授業に臨むことを期待します。本クラスでは、主にリーディングとリスニングのトレーニングを重点的にを行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強(vocabulary building)を基礎とし、さまざまな英語表現のインプット、そして取り込んだもののアウトプットを行います。リスニングにおいても、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習、シャドーイングといったトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150 を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。

英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、担当者が「英語演習」と同一であるという事実からも、生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現	3	2年Ⅰ類 A型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest English Expression I Vision Quest English Expression II Hope	ワークブック Vision Quest 総合英語 Ultimate	

科目の到達目標 ○普通の授業。 ○積極的に取り組み英語に慣れようとする態度が身に付いている。

評価の観点と方法について 出席状況・プリント・ノート等の提出、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元	学習項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 9	分詞2	①分詞を構文を作ることができる。②受動態・完了形の分詞構文を理解できる②慣用的な分詞構文が理解できる。④分詞構文が度の意味か訳すことができる。	①授業に積極的に参加しているか。
	5	Lesson 10	関係詞	①関係代名詞を使い分けことができる。 ②関係代名詞 What が理解できる。③限定用法と非限定用法が区別できる。④関係副詞を使い分けことができる。⑤複合関係詞を理解できる コミュニケーション英語と英語表現の中間考査対策	②板書事項をしっかりと理解しているか。 ③予習・復習がなされているか。
	6	中間考査			
	6	Lesson 11	比較	①原級を使った表現を理解できる ②比較級を使った表現を理解できる ③最上級を使った表現を理解できる ④慣用表現を理解できる ⑤原級比較級を使って最上級を現すことができる	④小テストや課題にしっかりと取り組んでいるか。
	7	Lesson 12	仮定法	①直接法と仮定法を理解できる ②仮定法過去・仮定法過去完了を理解できる ③未来のことを表す仮定法を理解できる ④様々な仮定法を使うことができる コミュニケーション英語と英語表現の期末考査対策	
		期末テスト			

		学習单元	学習項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	(Hope) Lesson 1	主語を決める	①主語を決定する ②見えない主語を発見する。③時間・天候・距離などの it を使うことができる ③形式主語を理解する ④無生物主語が理解できる。	
	10	Lesson 2	動詞を決める ①	①自動詞と他動詞を理解できる。 ②他動詞が用いられる第3文型と第4文型を理解できる ③補語の入る第2文型と第5文型を理解できる コミュニケーション英語と英語表現の中間考査対策	
	11	中間考査 Lesson 3	動詞を決める ②	①使役動詞を理解できる。 ②知覚動詞を理解し補語（C）のところに原形不定詞・現在分詞・過去分詞が来ることが理解できる ③ S+V+O+ to do の形になる様々な動詞を理解し使い分けることができる。	
	12	Lesson 4	動詞の形を決める①	① 日本語の「～する」、「～している」でも英語では必ずしも現在形や現在進行形になるとは限らないことを理解できる ② 日本語の「～した」、「～していた」でも英語では必ずしも過去形や過去進行形になるとは限らないことを理解できる。 コミュニケーション英語と英語表現の期末考査対策	
		期末考査			
三 学 期	1	Lesson 5	動詞の形を決める②	①義務・必要を表す助動詞を理解できる ②推量を表す助動詞が理解できる。 ③現在の事実と違うことを仮定する表現を使うことが出来る ④過去の事実と違うことを仮定する表現を使うことが出来る	
	2				
	3	Lesson 6	修飾語句を加える①	①名詞を前から修飾する語句を理解し使うことができる ②名詞を後ろから修飾する語句を理解し使うことができる コミュニケーション英語と英語表現の学年末考査対策	
		学年末考査			
その他（ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ） 高校1年の続きから学びます。2学期から新しい教科書に進む予定ですが、1年次の教科書は例えば、「不定詞、動名詞、分詞」という文法を体系的に学びますが、2年の教科書は例えば、「名詞を修飾する語句」というように不定詞と分詞が同時に出てきます。そのため1年次に学んだことの復習は必須です。1年次のテキストが終わればそれで終わりではなく、常に復習できるように心がけましょう。特に参考書 Ultimate を使えば高校で必要な文法は全て説明されているので積極的に活用しましょう。2年次が終わるころに1年次の復習が終わっていれば、3年時には演習問題に挑戦できるようになっているでしょう。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	3	2年Ⅰ類B・C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Vision Quest ENGLISH EXPRESSION I・II		Workbook I・II ユメジユク

科目の到達目標と CAN-DO リスト	
Writing :	日常生活についてある程度まとまりのある文章を書くことができる
Speaking :	日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。
(各技能の Can-Do リストについては TSEEGs 到達目標表を参照)	

定期考査は8割以上、平常点は2割以下として総合判断する。平常点は、授業中の取り組み方、提出課題の内容等を総合的に判断して決定する。また、英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価に入れる。	
熟語の小テストを行い、その理解の程度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
1 学 期	4	Lesson 9	分詞2	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	(a) 授業中の活動・発表
	5	Lesson 10	関係詞	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	(b) 課題の提出 (c) 小テスト (d) 定期考査
		《中間考査》			
	6	Lesson 11	比較		
	7	Lesson 12	仮定法		
		《期末考査》			

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				具体的な学習内容と方法	
2 学 期	9	Vision Quest English Expression II Hope Lesson 1	主語を決める	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。 ②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	
		Lesson 2	動詞を決める①		
	10	《中間考査》			
		Lesson 3	動詞を決める②		
	11				
		Lesson 4	動詞の形を決める①		
	12	《期末考査》			
3 学 期	1	Lesson 5	動詞の形を決める②	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。 ②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	
	2				
		Lesson 6	修飾語句を加える①		
	3	《学年末考査》			
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 「毎日コツコツ」が外国語学習の基本です。とは言っても、何事も継続することが難しいと感じている人もいます。何かを継続するコツは、まず「継続できる内容」にすることです。どんなに小さなちりでも、積もれば山になります。続けているうちに自信がついてくると信じて、まずは小さなことを一生懸命続けてみましょう。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
コミュニケーション英語 II	4	2年・2類・文理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	LANDMARK (啓林館)	夢をかなえる英単語1 (アルク)	

科目の到達目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点と方法について 定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の努力状況、予習や授業中の態度を考慮して30%以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 I'm the Strongest!	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、	予習の段階において、本文を読みながら、新出単語の意味確認を行う。授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。まずはユメタン1を用いて、基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。
	5	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle	output できる表現を増やしていく。			
		中間テスト				
	6	Lesson3 Saint Bernard Dogs				
	7	Lesson4 Chanel's Style				
		期末テスト				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 II	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest (啓林館)	総合英語 be (いっずな書店)	

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について
定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第12章 疑問詞・疑問文 第13章 強調・倒置・省略・話法など	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	第14章 名詞 中間考査 第14章 名詞			
	6	第15章 形容詞 第16章 副詞			
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第17章 前置詞			
		第18章 接続詞			
	10	中間考査			
	11	別冊の問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	別冊問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1・2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 II	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest (啓林館)	総合英語 be (いっずな書店)	

科目の到達目標 英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について 定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。 平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第12章 疑問詞・疑問文	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
		第13章 強調・倒置・省略・話法など			
	5	第14章 名詞		間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
		中間考査			
		第14章 名詞			
	6	第15章 形容詞			小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
		第16章 副詞			
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第17章 前置詞			
		第18章 接続詞			
	10	中間考査			
	11	別冊の問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	別冊問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1・2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	2年・2類・文型	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Vision Quest 1 (啓林館) Joy Reader 1 (数研出版)		プリント等

科目の到達目標
ある程度のまとまった英文を短時間で正確に読み取り、設問に答えられる能力を養う。
ALT の授業では主にスピーチ活動に取り組みながら、Listening や Speaking の活動を取り入れることにより、実戦的な英語力を身に付けさせる。

評価の観点と方法について
定期考査と平常点（小テスト、課題への取り組み状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。
定期考査はプリントの内容を中心とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	Lesson 1-8	【長文読解】 - 相手に内容を伝えられるように読む力をつける。 - テキストの長文で学習した語彙や表現を完璧に習得する。	ペアワーク 寸劇 ストーリーテリング 和文和訳からの英訳
	5	<中間考査> Lesson 9-12	【Team Teaching】 - 失敗を恐れずに英語を発話する姿勢を身に付ける。 - 基本となる『アイデアをまとめる力』を養成する。	
	6	Unit 1-5		
	7	<期末考査>		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	Unit 6-15		
	10	<中間考査> 英作基礎練習		
	11			
	12	<期末考査>		
三 学 期	1	英作応用練習		
	2			
	3	<学年末考査>		

その他（ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

この授業では、100 語程度の英文をたくさん音読します。まずは、前から文章を読み解いていく直読直解を身に付けていきましょう。それには、単語力と文法力が不可欠です。自信がない人は、基礎力がないことを認め、今一度基礎固めに各自でつとめてください。最終的には、ある程度のまとまった英語を前にした時に臆することなく読み切る精神力と体力を身に付けられるようにしましょう。短文を読む力が身に付けば、短文の集合体である長文も読み解けるようになります。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
コミュニケーション英語 II	2	2年・3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	BIG DIPPER I (数研出版)	ユメタン0 (アルク)	

科目の到達目標 教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに、英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

評価の観点と方法について 定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	方法・活動
一学期	4	Lesson4 The History of the Telephone	- Can you imagine a life without a mobile phone? - When did telephone become Portable? - Do mobile phone have any problems? 以上の点を中心に読み解く	① 教科書を通じて英語で話される日常的・社会的な話題を理解する力を伸ばす。授業の音読練習で相手が発話している英語を聞き取る力をつける。
	5	中間考査		② 新出単語、文法を理解した後、本文をしっかりと音読練習し定着を図る。また、ペアワークをすることで相手に対して発話する機会を持つ。
	6	Lesson5 Universal Design : Why Is It Important for You ?	- Which type of vending machine is universal design? - What are the keywords of universal design? - What is the difference between barrier-free design and universal design? - What are the basic idea of universal design? 以上の点を中心に読み解く	③ 文法は練習問題を通じて理解を深める。また、語句・文章のサイトトランスレーションを通して内容の定着と正確に発話する力を身に着ける。
	7	期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson6 J.K. Rowling : Everyone Has Hidden Power	- Where did Joanne get the ideas? - How did Joanne create the whole story? - What were the problems of Joanne's first book? - What does the "magic" in the Harry Potter series means? 以上の点を中心に読み解く	一学期に同じ。
	10	中間考査		
	11	Lesson7 The Bicycle : An Old Friend And a New Friend	- Is the bicycle old-fashioned? - How do people use bicycles? - What are the problems with bicycles?	
	12	期末考査	How can we solve the problems? 以上の点を中心に読み解く	
三 学 期	1	Lesson8 From Child to Adult :	- Do you think you are grown-up? - How does the law define adulthood? - Should we lower the age of adulthood?	一学期に同じ。
	2	When Do You Change?	When do people become mentally mature? 以上の点を中心に読み解く	
	3	Lesson9 Food Miles : Where Does Our Food Come From? 学年末考査	- What does "food miles" means? - What are the problems of buying food from far away? - What can we do to solve the problems? - Why do we buy a lot of food from abroad? 以上の点を中心に読み解く	

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

授業の復習を大切にしてください。本文に出てきた語彙や文法をしっかりと理解して長文を読む力をつけましょう。また、語彙力なくして英文は読めません、ユメタンの小テストは1週間前から準備し、万全の態勢で受けてください。みなさんの日々の努力による向上を期待しています。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 I	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Revised Vision Quest English Expression I	プリント	

【科目の到達目標】

<Writing>

1. 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
2. 印象に残った出来事について、その内容を伝える文章を書くことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

1. 日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。
2. 印象に残った出来事について、話すことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介することができる。(4分程度)

【評価の観点と方法について】

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1	文の種類	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	5	Lesson 2	文型と動詞	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
		中間考査			
	6	Lesson 3	時制		
	7	Lesson 4	完了形		
		期末テスト			

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 5	助動詞	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	10	Lesson 6	受動態／観光	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
		中間考査			
	11	Lesson 7	不定詞／交際		
	12	Lesson 8	動名詞／娯楽		
		期末考査			
三 学 期	1	Lesson 9	分詞／ルール	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	2	Lesson 10	関係詞／文化	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

「毎日コツコツ」が外国語学習の基本です。とは言っても、何事も継続することが難しいと感じている人もいます。何かを継続するコツは、まず「継続できる内容」にすることです。どんなに小さなちりでも、積み重ねれば山になります。続けているうちに自信がついてくると信じて、まずは小さなことを一生懸命続けてみましょう。